

トークセッション

先行き予測不能なコロナ禍を
どう考えマネジメントしていくのか…

緊急!

コロナ禍のもと

公共ホール

の舵取り

～《東・名・阪》公共ホールの現役館長らが語る～

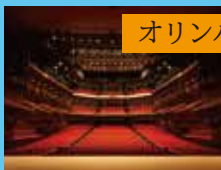
令和3年

3月3日(水)

時間：14:00～15:45 (予定)
会場：Webオンライン
(ZOOMウェビナー)

※要事前申込

パネリスト



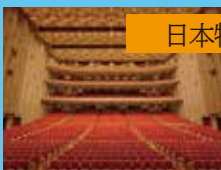
オリンパスホール八王子 (八王子市民会館) 今井 敬二 館長

熊本県出身、済々黉卒業
駒澤大学時代の先輩 (大阪厚生年金会館ホール支配人尾内則道氏) の紹介で
東京厚生年金会館に就職し音響係・事務管理に従事。会館の閉鎖に伴い、
オリンパスホール八王子の開館準備室へ、2015年4月より館長に就任



東大阪市文化創造館 渡辺 昌明 館長

民間企業を経て1993年より立川市地域文化振興財団に勤務
2018年3月財団事務局長を定年退職し、東大阪市文化創造館開設準備のため
大阪に赴任。2019年9月開館と同時に初代館長に就任。近畿大学文芸学部
舞台芸術専攻非常勤講師、全国公立文化施設協会コーディネーター



日本特殊陶業市民会館 (名古屋市民会館) 坂井 誠治 館長

イベント制作会社を経て1996年より「ジェットロ輸入車ショールーム」
「よこはま動物園ズーラシア・ギフトショップ」等の施設の立ち上げ・管理
運営に従事。前職は2006年より「日比谷公会堂・日比谷公園大音楽堂 (野音)」
の副館長。2016年4月から現職

セッションの主な内容

- ・ 2度の緊急事態宣言が出る中、ホール責任者としての舵取りで大きく変わったこと
- ・ コロナ禍+大災害など、複合的な非常事態時の対応と心構え
- ・ アフターコロナの公共ホールの役割等、どこへ向かおうとしているのか

参加方法



「トークセッション参加希望」と明記のうえ

- ①氏名
- ②会社・団体または所属施設名
- ③電話番号

を event@nagoya-shimin.hall-info.jp

までお送りください。



※申込期限：2月28日(日)



開催日の前日までに、
申込メールアドレスへ

- ①参加用URL
 - ②パスワード
- をお送りいたします。

当日はインターネットへの
接続と音声出力が可能な
PC等をご用意のうえ、
参加用URLより

ご視聴ください。

